

表1 牛群の305日乳量と周産期の健康指標との関係

健康指標	偏帰係数	標準誤差	P値
死産 ¹⁾ 割合 (%)	-66.7	14.5	<0.01
除籍 ²⁾ 割合 (%)	50.0	11.7	<0.01
死産割合 (%)	33.8	10.9	<0.01
双子割合	41.3	22.0	0.06
乳脂肪率異常 ³⁾ 割合 (%)	12.4	5.1	<0.05
リニアスコア ⁴⁾ 異常割合 (%)	-35.3	68.6	<0.01
第四胃変位治療 ⁵⁾ 割合	63.7	12.6	<0.01
ケトーシス治療 ⁵⁾ 割合	18.9	7.2	<0.01

1) 分娩後56日以内、2) 同乳用売却以外の除籍、3) 分娩後56日以内の初回検定時乳脂肪率 $\geq 5.0\%$ 、
4) 同リニアスコア ≥ 5 、5) 分娩後56日以内の治療

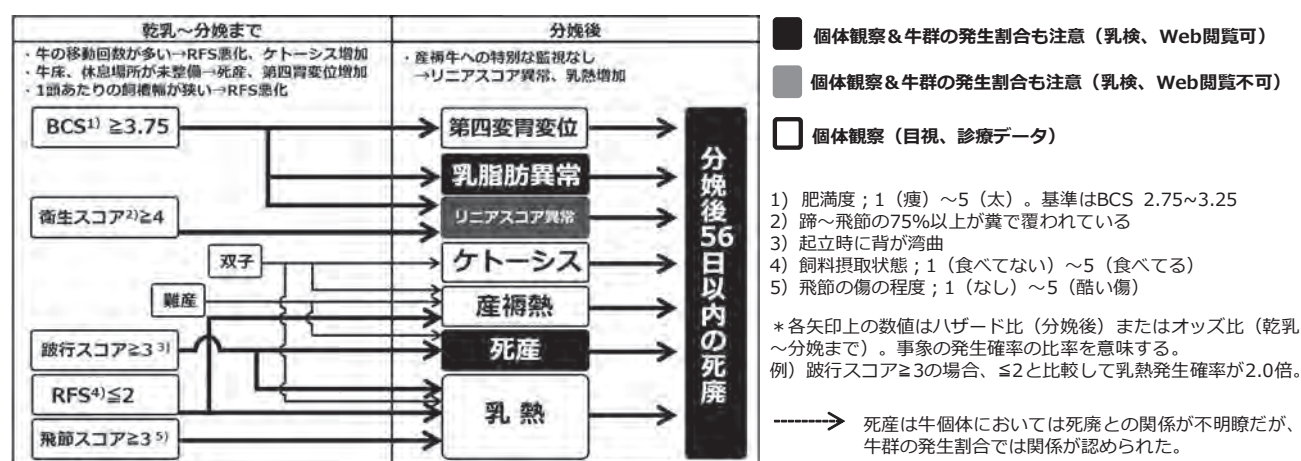
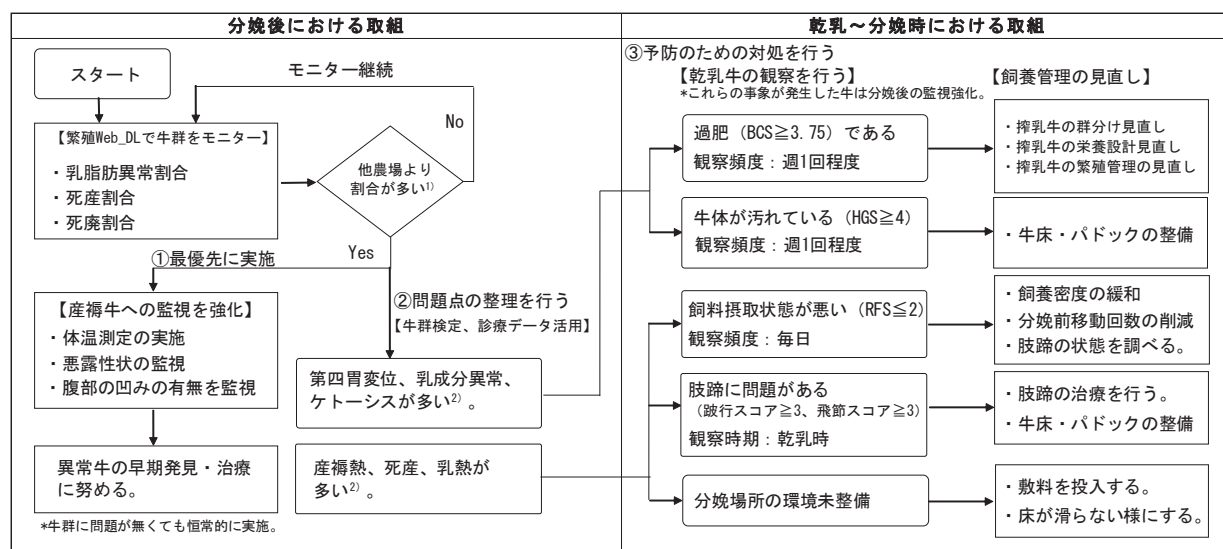


図1 周産期における死産関連要因とその関係



1) 例えば繁殖 Web_DL において自分の農場の発生割合が悪い方に位置する場合。
2) 第四胃変位；5%、産褥熱；6%、乳熱；9%（調査農場における発生割合の中央値）、繁殖 Web_DL で確認できる項目は「要改善

図2 営農情報を活用した周産期の飼養管理モニタリングの考え方

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
道総研酪農試験場 酪農研究部 乳牛グループ 小山 毅
電話 (0153) 72-2004 FAX (0153) 73-5329
E-mail : koyama-takeshi@hro.or.jp